

平成 22 年度 研究紀要 第 60 集

- 調査研究部 **携帯電話の適切な利用に向けて**
—安房と全国の調査結果を比較して—
- 教育研修部 **思考力を高める学習指導のあり方**
—「きく」・「話す」活動を通して—
- 情 報 部 **P C によるアンケート調査ソフトの活用を探る**
- 教育座談会 **安房の子どもたちの学力向上を考える**



千葉県安房教育研究所

2011. 3

調査研究部 提言

<携帯電話の適切な利用に向けて>

○提言1ー子ども達へ

ルールやマナーを守ろう。

- ① 携帯電話の便利な点と危険な点を知りましょう。
- ② 相手の気持ちを考えてマナーを守りましょう。
- ③ トラブルに巻き込まれないように家族とルールを話し合ひましょう。

○提言2ー家庭へ

ルールを作り見守ろう。

- ① ネット社会の利便性と危険性に関心を持ちましょう。
- ② 使い方についてルールを作りましょう。
- ③ 利用状況を把握し、ルールを守らせましょう。

○提言3ー学校へ

計画的な指導や情報発信にとりくもう。

- ① 道徳教育の充実を図り、ルールやマナーを守る態度を育てましょう。
- ② 学校全体で計画的に指導に当たりましょう。
- ③ 保護者への情報発信を積極的に行い、連携を図りましょう。

教育研修部 提言

「きく」・「話す」活動を充実させるための工夫をすれば思考力が高まる。 <児童生徒の思考力を高めるには>

- 学習課題を確実に把握させることで「きく必然性」「話す意欲」をもたせよう。
- 相手意識を高め、「きく」・「話す」活動を活発化させよう。
- 「メモ」を活用し「きく」・「話す」活動を充実させよう。
- 学習形態を少人数化し、意図的な指名や発問で話し合いを組織化させよう。

先生方をつなぐ

研究所のホームページを目指しております。
<http://www4.ocn.ne.jp/~awkyoiku/>

2010年度のあゆみ



日常の所員研修の様子



教育研修部



調査研究部

情報部

夏季宿泊研修会



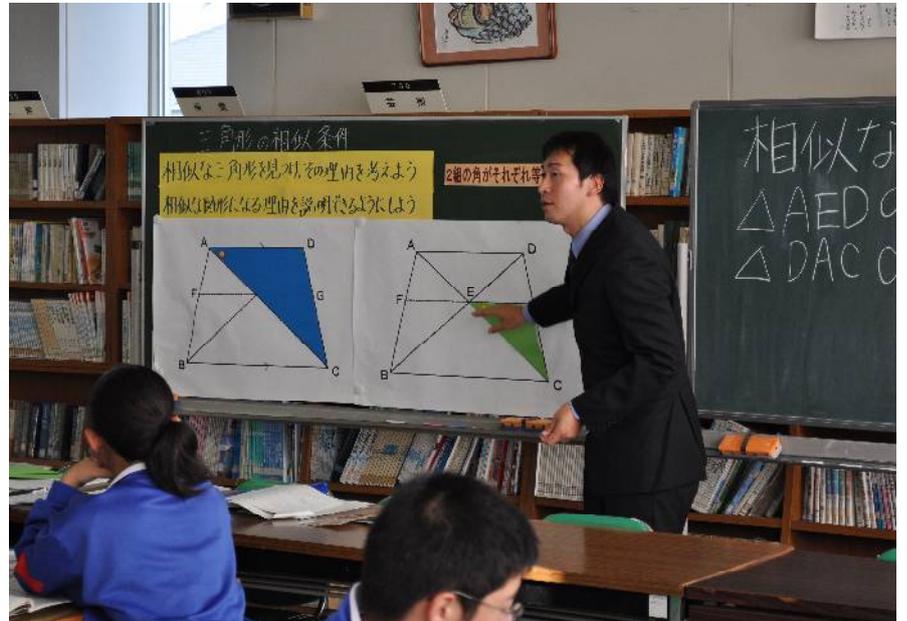
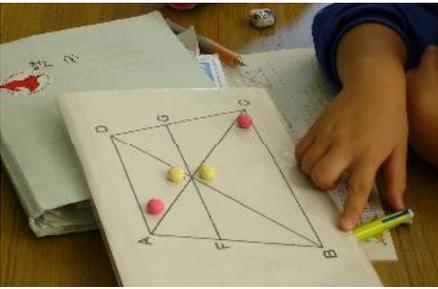
教研集会



県外研修



教育研修部実践授業



教育座談会



千葉県教育研究所連盟研究発表会



安房教育研究所発表会

所員一人一人が“安房教育”を

安房教育研究所長 石井昭博

はじめに

2月9日に安房教育会館で、今年度のまとめを発表しました。どの部の発表も短い時間でしたが研究内容をよくとらえ堂々とした発表で頼もしく感じました。参観者からは、「若い先生方が、大変しっかりしていますね。」とお褒めの言葉をいただき、研究所に対する期待と責任の重さを痛感しました。その後の反省会で、研究所の先輩でいらっしゃる庄司芳夫先生から研究所がどのようにしてできたのかを聞く機会がありました。大変な苦勞をして、研究所ができたいきさつを伺うことができ、先輩の先生方の安房教育に対する並々ならぬ熱意を感じ取ることができました。

『安房教育』を築いてきた諸先輩方の重さを感じながら所員一同、一生懸命頑張ってきました。今年度の所員数は31名で、1年間かけて取り組んだ研究の報告を『研究紀要第60集』として刊行致します。

調査研究部

今年度は、『携帯電話の適切な利用に向けて 一安房と全国の調査結果を比較して一』というテーマで研究をしてきました。携帯電話のもつ利便性と危険性について、安房地区の児童・生徒、保護者、教員のアンケート調査をしました。それを集約し、分析・考察をし携帯電話の適切な利用について、子どもたち、家庭、学校への提言をしています。

教育研修部

実態として、「言われることはできるのだが、自分から考えて行動することができない」という課題は授業でも見られます。その課題をふまえ、『思考力を高める学習指導のあり方』の主題は引き続いて3年目の取り組みです。今年度は、「話し合うことでの思考の深まり」に視点を置き「きく」・「話す」をキーワードとして小学校と中学校の授業を通して明らかにしようとしてきました。

情報部

3人の所員で研究所の研究状況をHPで紹介すると共に、これまでの研究紀要の概要を閲覧できるようにし利用者の拡大に向けて努力しています。今年度は、アンケートを簡単に集計したり分析したりするS Q Sのソフトについて学校で使えるように情報発信をしていきます。

夏の講演会では早稲田大学の田中博之先生から『型を活用して表現する学習への転換』と題してご講演をいただきました。学習していくには、学習のモデルを持つことが大切であるとフィンランドの教育を交えながら具体的に話していただきました。

教育座談会では、「安房教育の子どもたちの学力向上を考える」と題して、5名のパネリストを迎えて開催しました。学習塾の講師のパネリストや保護者、高校の教員など、幅広く教育に携わっている方から貴重なご意見をいただきました。

来年度から小学校は指導要領が完全実施となります。『生きる力』を育み『心豊かなたくましい児童生徒の育成』の基本的な考えは、いつの時代になっても変わらぬ教育の目標であり、教員の願いでもあると思います。教育を取り巻く問題は山積していますが、研究所はその願いを達成するために、教育の現状と課題を分析しその具体的な手立てを安房地区に広めていくと共に安房教育を展覧させていくことが所員に望まれています。

おわりに

本研究に際しましてご指導、ご支援を賜りました講師の先生方、千葉県教育庁南房総教育事務所、同安房分室、千葉県教職員組合安房支部、安房地区教育委員会連絡協議会、安房郡市小中校長会・教頭会等々、多くの関係機関の皆様に心からお礼を申し上げます。

目 次

写真で見る 2010 年度のあゆみ	1
はじめに	5
目 次	6
第一編《調査研究部》 携帯電話の適切な利用に向けて	
—安房と全国の調査結果を比較して—	
第1章 本年度の調査研究	9
1 研究主題	9
2 主題設定について	9
3 研究のねらい	9
4 研究の内容と方法	9
5 研究経過	10
第2章 子どもと保護者についての調査結果の分析と考察	11
1 利用状況について	11
2 意識について	21
3 利用状況と意識の相関関係から	30
第3章 学校への調査結果の分析と考察	34
第4章 研究のまとめ	36
1 まとめ	36
2 携帯電話の適切な利用に向けて【提言】	38
3 課題	38
《研究発表会における講師からの指導》	39
資料編	40
第二編《教育研修部》 思考力を高める学習指導のあり方	
—「きく」・「話す」活動を通して—	
第1章 研究の方向性	43
1 研究主題	43
2 主題について	43
3 研究の目標	43
4 研究の仮説	43
5 「思考力」を高める上でのめざす子どもの姿	44
6 研究の経過	44

第2章	小学校の実践	45
1	単元名 第6学年 理科「人の体のつくりと働き」	45
2	単元について	45
3	仮説とのかかわり	47
4	指導目標	48
5	全体計画	49
6	本時の指導	50
7	児童の変容と考察	51
第3章	中学校の実践	57
1	単元名 第3学年 数学「図形と相似」	57
2	単元について	57
3	仮説とのかかわり	58
4	指導目標	59
5	全体計画	59
6	本時の指導	60
7	生徒の変容と考察	63
第4章	研究の成果と課題	69
1	成果	69
2	課題	69
	《研究発表会における講師からの指導》	70
第三編《情報部》	PCによるアンケート調査ソフトの活用を探る	71
	活動の概要	71
1	主題	71
2	主題について	71
3	活動目標	71
4	活動内容	72
5	成果と課題	72
第四編《教育座談会》	安房の子どもたちの学力向上を考える	
	教育座談会記録	73
平成22年度	安房教育研究所役員一覧表	92
平成22年度	千葉県安房教育研究所所員一覧表	93
千葉県安房教育研究所	研究テーマ一覧表	94
あとがき		98